



神小たより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 3月号

保護者・地域版

H29. 3. 10



「今年度1年間、神山小学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。」

校長 鈴木 正彦

心配されていた風邪やインフルエンザも大きく流行すること無く、2月24日には無事「6年生を送る会」を実施することができました。6年生への、「ご卒業おめでとう」と「今まで本当にありがとう」の心あふれる、すばらしい会となりました。

1年生は、ステージ前の飾りとダンスの発表を、2年生は、くす玉づくりとクイズ・ダンスの発表を、3年生は、花のアーチとクイズを、4年生は、ステージの「6年生ありがとう」の飾りと劇を、5年生は、体育館の飾り付けと劇を、それぞれ6年生へプレゼントしました。

6年生からはお返しに、小学校6年間の思い出を劇で紹介してくれました。特に、5年生はこれから学校を支えていく新たなリーダーとなって、「6年生ありがとう週間」から始まり、6年生を送る会の全体運営まで、裏方に回って支えてくれました。5年生の皆さん、ありがとうございました。6年生から、最高学年としての心構えを立派に受けつぎました。

さて、これまであらゆるところでリーダーシップを発揮し、全校のお手本となり力強く引っ張ってってくれた6年生。教室をのぞいても、いつも真剣に学習したり、男女仲良く話し合ったりする様子を見ることができました。何より笑顔がすてきな6年生でした。神山小学校の、1年生～5年生の子どもたちは幸せです。「あの6年生のようになりたい。」というよいモデルが、いつも身近にいたからです。

6年生が神山小学校で過ごせるのは、卒業式を入れてわずか10日（3月10日現在）です。残りの神山小学校での日々を悔いを残さず過ごして欲しいと思います。1年生～5年生は、6年生が居る間に、1分でも1秒でもたくさんの思い出をつくって欲しいと思います。



〈全校合奏：ビリーフ〉



さて、昨年の4月に平成28年度の神山小学校がスタートしたばかりだと思っていましたが、あっという間に平成29年の3月10日。学年の最後のまとめと、6年生の門出を祝う卒業式を残すのみとなりました。この1年、神山小学校の子どもたちには、

- ①「一見華やかに見える舞台の裏には、見えないところでそれを支えてきた多くの人たちが居ること」
- ②「『ありがとう』という感謝の言葉と、それを伝えることの大切さ」

について伝えてきました。

実は、「感謝の心」は、唯一「ヒト」だけに与えられているものだそうです。ちなみに、「ヒト」がもっている「感謝の心」を100%だとすると、生物学的な「ヒト」に近い「ゴリラ」「チンパンジー」「オランウータン」は、「感謝の心」をどれくらいもっているか分かりますか？答えは、何と「ゼロ（0）」。「ヒト」以外の霊長類に「感謝の心」は入り込んでいないそうです。したがって、「ゴリラ」や「チンパンジー」が、「ありがとう」と言って、仲間に向かって手を合わせることはありません。

「ヒト」に唯一与えられた「感謝の心」、ぜひ、意識してあらゆる場面で伝えたいものです。また、「ありがとう」は、心の中で思うより、「口に出した」ほうが、何倍ものパワーを持ちますので、ぜひ、声にして感謝の気持ちを伝えていきましょう。

1年を通して、保護者・地域の皆様に支えていただいたお陰で、無事教育活動を展開することができました。本当にありがとうございました。心より感謝いたします。

平成29年度も、保護者・地域の皆様と手を取り合い、神山小学校の子どもたちの健やかな成長を願って、精一杯教育活動を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。